

## 松江市公共交通利用促進市民会議に期待すること

### 1. 走行環境改善部会の再設置

- ・「公共交通で暮らしやすい未来を実現するプロジェクトチーム」中間とりまとめ案では「各公共交通の役割分担に基づいた効率的・持続可能な公共交通体系の整備」などが挙げられており、今後ますます乗継ぎ環境整備が求められる。
- ・乗継ぎ環境整備は、待合環境改善（上屋、ベンチなど）や乗継ぎ割引拡充のほか、定時性・安全性の向上が最重要項目となる。
- ・定時性・安全性向上のためには、信号制御、PTPS、バス（専用・優先）レーン、道路標示等の設定や道路改修などが必要となることから、道路管理者・警察・バス事業者等で構成する部会を早急に再設置していただきたい。

\* 走行環境改善部会は H21～R3 まで活動していたが、R4 以降は開催されていない

### 2. 利用促進活動の積極的な実施

- ・路線の周知、乗車マナー等の啓発、日中・休日の利用促進を行ってはどうか。

#### 実施例

#### (1) 路線周知、乗車マナー向上を図る

##### ① 各地域でのバス教室の開催

\* バスの現状説明及び路線ダイヤの紹介、マイ時刻表の作成支援、車内事故防止の啓発

##### ② 小学校でのバス（鉄道）乗り方講座の開催

\* バス（鉄道）の乗り方紹介、マナー向上、車内事故防止

\* 学校でも理解を深めていただけるよう、教職員向けに指導書を作成してはどうか

#### (2) 日中・休日の利用促進

##### ① 会議開催案内へのバス時刻掲載依頼

\* 市が開催する会議の際、公共交通利用及び公共交通時刻の記載を依頼  
(特に高齢者の会議)

##### ② 公共施設等ホームページへのバス案内掲示依頼

\* 公共施設等のホームページに松江駅発のバス乗り場・路線案内の掲示を依頼

##### ③ 大学等新入生向けお試し乗車券の発行

\* 市が協定を交わしている高等教育機関（島大、県立大、高専）との連携  
在学期間中、学生に松江を体験してもらいたい、地域貢献、休日の収益確保

④土日祝日限定小学生以下無料乗車イベント

- \*既存事業。H29～R1 は市民会議、R4～R6 は交通事業者で実施  
市民会議事業として実施してはどうか  
(構成団体でも周知を図ることで幅広く実施できないか)

⑤時差出勤の推奨

- \*通勤・通学利用が集中する時間帯に多くのバス車両と運転士を投入している。時差出勤(例:8時半出勤を前後30分~1時間程度スライド)が進めば需要の分散化が可能となり、運転士確保に苦慮しているバス事業者にとって大変ありがたい施策と考える

⑥業務での公共交通利用の推奨

- \*職員が業務で外出する際に公共交通を活用  
(例:各職場でICOCAを用意し、該当職員に貸出)

⑦バス・鉄道イベントの再開

- \*市民会議では秋にイベントを開催してきた。  
H30、R4は、JR、一畑電車、一畑電車、交通局が参加
- \*R4には店内にブース出展したほか、イオン松江SC正面出入口にバスを置き、乗車体験も実施